

学校だより

令和3年6月

戸山

新宿区立 戸山小学校

『時代と学校の役割』

主幹教諭 松田 麻里

新型コロナウイルス感染症が世間で騒がれ始めて早くも1年半が過ぎようとしています。

「新型コロナウイルスと人間との戦い」の時代から、ワクチンの開発、接種がはじまり、新しい生活様式で感染予防しながらの「With コロナ」の時代になりつつあります。

このような激動の時代の中で学校の果たす役割と学習内容も変わっていきます。時代に合わせて、必要な力が変わっていくからです。

江戸時代後期、寺子屋への就学率が高まった頃の庶民の識字率は、武士が100%、その他でも50パーセントから60%に達していました。ですが、寺子屋では、読み、書き、そろばんの他に農業や商業の基本や躰、また、書画、和歌、琴、茶道、活け花などの教養も教えられていました。様々な書物から、当時の日本人の好奇心や向学心が高かったことが伺えます。

明治時代になり、学制から教育令が制定されて、小学校が設置されました。そして、大正、昭和、平成と、学習する教科も移り変わり、高い教育を受ければ、豊かな将来が約束されるという教育熱が高まりました。

しかし、今、必ずしもそうとばかりはいえない世の中になりつつあります。新たな課題が次々とふりかかってくる先の見えない時代の中で、困難に立ち向かい、自分で人生を切り開いていく力が求められています。数値化できない力、非認知能力（目標や意欲、興味・関心をもち、粘り強く、仲間と協調して取り組む力や姿勢を中心とする）の中でも、粘り強さや挑戦する気持ちは大切とされています。従来これらの能力は、気質や性格と捉えられてきましたが、求められる能力として注目されています。これらの能力を身に付けさせることを学校の役割の一つとして、保護者の皆様と協力して子ども達が成長できるよう努めていきます。

新任者挨拶

2ヶ月が経ちました！！



主任教諭①

区内の富久小学校より異動して参りました。始業式の日、「初めまして」のその日から笑顔で話しかけてくれる子ども達がたくさんいて、とても嬉しくなりました。感染症予防対策をとりながら、子ども達と楽しく音楽の学習をすすめていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

主任教諭②

本年度より戸山小学校に着任いたしました。戸山小の子ども達の明るく元気なあいさつと、何事にも前向きにがんばる姿に、毎日パワーをもらっています。一人一人の良さを大切にし、成長していくことができるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いたします。

養護教諭

今年度、戸山小学校に着任しました。放課後、校庭に立っていると、どんな1日だったのか子ども達が楽しそうに話をしてくれます。当たり前のように学校生活を送れる大切さを実感する日々です。昨年度に引き続き、コロナ禍での生活ですが、子どもたちが元気で安全に学校生活を送れるよう、取り組んでいきます。どうぞよろしくお願いたします。

学校だより翻訳版について

戸山小学校では、日本語の苦手なご家庭向けに、学校便りと学年便りの翻訳版を配布しております。扱っているのは、英語、中国語、韓国語、ネパール語、ベトナム語、ミャンマー語、タイ語です。翻訳に時間がかかるため、配布は該当月の中旬となることが多いです。

今後も翻訳版の配布を希望するご家庭は、6月15日までに担任に申し出てください。ご連絡がない場合は、日本語版のみの配布となりますのでご注意ください。

(日本語担当上野)

